

2014 年 AORC(アジア・オセアニア地域会議)活動

アジア・オセアニア地域の AORC メンバーの 9 ヶ国(8 月から 12 ヶ国にメンバー国が増加)の NC が参加し AORC として活動を行っている。2014 年度中の活動概要を報告する。

1. AORC 2014 東京会議 (日本・東京: 2014 年 5 月 26 日～30 日)

(1)出席者

AORC メンバー並びに参加者:22 ヶ国から 204 名(Dr. Norkun Sitthiphong AORC 議長、横山 JNC 委員長, CIGRE CO 事務局長 Mr. Philippe Adam 他多数)

(2)テーマと開催された会議

“Interconnections and Connecting New Power Sources to the Grid”(系統連系ならびに新電源への接続)をテーマに掲げ、関連 SC として、B1(絶縁ケーブル)のほか、B2(架空線)、B4(直流とパワーエレクトロニクス)、C4(系統の技術性能)、C5(電力市場と規則)合同で、Technical Meeting を、AORC Administrative (理事会)と Panel-B1, Panel-B2 の 2 つの分科会も同時に開催された。

(3)発表論文

登録論文数 82 件と AORC 会議で過去最大数の論文が提出された。

(4)開会式, AORC 理事会, Technical Meeting 並びにポスターセッション

① 開会式 (5 月 27 日午前)



AORC Technical Meeting 東京会議 Opening

② AORC 理事会 (5 月 27 日午後)



AORC 理事会

③ Technical Meeting 並びにポスターセッション



B2(架空線)セッション 1



ポスターセッション

今回は国際連系の内容がテーマにあり, B1 の直流ケーブル連系やこれに関連する B4 の VSC-HVDC と言った論文テーマが多数発表され活発な議論が行われた。

2. AORC Administrative Meeting (AM)(日本・東京: 2014 年 5 月 27 日 PM@アルカディア市ヶ谷)

(1)出席 NC(6 カ国 3 地域 28 名出席)

日本(4), 中国(5), 韓国(2), マレーシア(2), タイ(8), インドネシア(0), オーストラリア(2), ニュージーランド(0), インド(0), マカオ(2), 香港(1), 台湾(2)

* CIGRE パリ本部の新事務局長 Philippe Adam 氏が Invited guest として参画。日本からは横山委員長, 中谷副委員長, 上原幹事, 服部前幹事が出席した。

(2)議事

① 各国活動の紹介(2013~2014)

中国, 日本, 韓国, マレーシア, タイから報告があった。日本からは, 横山委員長が 2013 年に日本で開催されたコロキウム(CIGRE C3コロキウム@奈良, C6コロキウム@横浜が開催されたこと)並びに CIGRE-JP NGN の活動に関して報告された。

② AORC TM 報告

現地運営委員会の前 JNC-AORC 担当服部幹事から AORC の国や地域から約 200

名が参加して AORC-Technical Meeting が開催されたことが報告された。

③ AORC 規定の見直し提案

④ AORC History Book の発行時期は、2014 年パリ大会を目指すことにした。

現状インド、インドネシア、オーストリアの原稿がまだ完了していない。

⑤ 次回 AORC 理事会について

次回 AORC 理事会は、フランスのパリ大会期間中に行われ下記の要領で開催。

日時: 8 月 25 日(月) 14:00~16:00

場所: Room 242B, Palais des Congres

⑥ 新メンバー受入れ

理事会は、下記の新メンバーの受入れについて承認した。

Regular member : イラン

Observer member : 台湾, 香港, カンボジア, マカオ

⑦ その他:

次期議長国について、JNC から次期議長国にマレーシアを推薦した。マレーシアがこれを受け入れたので次回のパリの AORC 会議で指名される事となった。(今回は JNC チェア並びに担当幹事が変わったことを理由にマレーシアに次の議長をお願いしたが 2 年後は JNC が引き受ける必要がある。)

3. AORC Administrative Meeting (AM)(フランス・パリ: 2014 年 8 月 25 日 PM)

(1) 出席 NC (12 ヶ国 3 地域 41 名出席)

オーストラリア(3), 中国(5), GCC(2), インド(3), インドネシア(2), イラン(2), 日本(3), ジョーダン(2), 韓国(2), マレーシア(5), タイ(6), 香港(1), 台湾(2), カンボジア(3)。日本からは横山委員長, 上原幹事と服部前幹事が出席した。

(2) 議事

① AORC History Book について、インドネシアの原稿が遅れているが 2 か月の猶予を議長が与えたが、マレーシアから反対意見が出た。(最終的にはインドネシアの原稿は提出されず最終版となっている。)

② GCC, Jordan, Iran のレギュラーメンバー 3 名とオブザーバーメンバー 4 名が追加となった。今回 7 ヶ国(地域)が参加する事になり AORC に取っては成功。ベトナム NC も今後参画する予定。(JNC がベトナムの NC 設立と AORC への参画を今後 9 月以降に確認し、AORC 並びに CIGRE 本部に報告する予定である旨説明した。)

③ C6 に関しては、SC C6 chair との情報共有が非常に大切であることが確認された。C1-Panel の設置に関してはインドから次回提案されれば審議する。C6-Panel の主

査は中国の新メンバーが今後対応する。(キックオフは12月を予定していたが、来年の8月のマレーシアで開催される可能性が高くなった。)

④ 次回開催 時:2015年8月16日(日)~21日(金)

場所:マレーシア・サバ(Sabah)

題目:AORC TM会議, 理事会他

* AORC 理事会は, 8/18(火)に開催される予定。

次期議長国候補を次回のAMにて議論することにした。

4. JNC ベトナム NC 立上げ支援活動(ベトナム・ダナン: 2014年11月7日PM)

ベトナム VEEA(=Vietnam Electrical Engineer Association)の会長から JNC が招待を受けてベトナム NC 立上げ式に JNC AORC 担当の上原幹事が参加した。

背景は下記のとおりである。

(1)ベトナム CIGRE 国内委員会は、1992年に発足し過去に日本からのサポートもありパリ大会の参加なども行っていた。2009年までは正常に CIGRE 活動が行われたが、支持母体の EVN からの財政面の支持が無くなり活動を中止。2009年~2014年初めまで、暫くは活動が停止していた為、昨年日本国内委員会から再立ち上げの為に活動を開始。(パリ本部から支援費用を基に活動。)

(2)2014年に入り、EVN グループ傘下の NPT(=National Power Transmission Corporation)が財政的な支援を行う事を決定。CIGRE の活動スコープに一致する送変電を取り扱う会社が支援に対して手を挙げた。これにより暫定的に 2009 年まで委員長を務めた Tran Dinh Long 氏が委員長を継続する。(現在ハノイ科学技術大の Invited Professor となっており、電気工学、系統保護、電力市場の科目を教えているとのこと。社会主義時代にモスクワで教育を受け、ロシア語、英語、フランス語が堪能で、これまでに教えた学生が現在 EVN のトップマネジメントに多数いるため非常に影響力を持つことが解った。)

3)ベトナム CIGRE 国内委員会の General Secretary は、この EVN/PTC(送変電会社)の取締役会メンバーで若干 42 歳の Cuong 氏、社長・CEO の Minh 氏も VNC 副委員長として同席。NPT は従業員 7300 名であるがベトナム全土に支社があり、25 名の個人会員の費用の面倒を見る。また団体会員 3 団体が参加し等価会員数で 43 名となり、CIGRE の規約で NC が認められる最低ラインの 40 名以上の会員数を満足する事を確認した。

4)CIGRE 本部としては、2 年間で 100,000 ユーロの NC 支援費を持っており(これ迄の VNC に対する説明ではこうなっているが、最近の NC 活動立上げや技術会議の為に支援を行えるので 2015 年以降の活動に関して支援が必要であるならば、11 月までに計画書を CIGRE 本部へ提出すれば支援費を確保する事が可能になるためこの利用を推奨したが、NPT が財政的なバックになる事が明確になった為、支援費の確保が特に必要である事は無いものと感じた。

VNC 立上げ式は、下記のとおり行われた。

時:2015 年 11 月 7 日(金)16:00～17:00

場所:EDEN PLZA DANANG 2F 会議室

出席者:約 500 名(National Electric Science and Technology Seminar の最後のセレモニーとして開催された。

1.National Electric Science and Technology Seminar:ベトナムCIGRE国内委員会発足 (11月7日)

日 時:2014年 11月7日(金) PM

場 所:Eden Plaza Hotel 2階大会議室

議 事:ベトナムCIGRE国内委員会発足について並びに第1回ベトナム国内委員会発足式

出席者:VEEA 会長 Dang Hung(前EVN 社長)、The Hanoi University of Science and Technology (HUST) Tran Dinh Long教授(Invited Professor) EVN/NPT 社長・CEO Vu Ngoc Minh EVN/NPT 副社長、EVN/NPT 取締役 Nguyen Duc Cuong(Ph.D.)、VEEA Thai Anh マネージャー、EVN/EPU Assoc. Prof. Dr. Dam Xuan Hiep、EVN/EPU 国際協力部 副室長 Doan Vu Trong Anh(この人が殆どサポート、ベトナム語の逐次通訳)、CominAsia Automation Department manager: Tran Anh Tuan(2013年JNC訪問時にサポート・今回もVEEAから招待された。)その他の出席者含めて約500名



Vietnam NC Organizing Committee

左から右に向かって

Mr. Vu Ngoc Minh – General Director of National Power Transmission Corporation (EVNNPT) – Vice Chairman of VNC

Mr. Tran Dinh Thanh – Chairman of Central Electrical Engineering Association (CEEAA).
Dr. Duong Quang Thanh – Vice General Director of Electricity of Vietnam (EVN)
Mr. Dang Hung – Chairman of Vietnam Electrical Engineering Association (VEEA)
Prof. Tran Dinh Long – Vice Chairman of VEEA – Chairman of VNC
Mr. Kyoichi Uehara – Secretary of JNC
Prof. Dam Xuan Hiep – Rector of Electrical Power University (EVNEPU) – Vice Chairman of VNC
Dr. Nguyen Duc Cuong – EVNNPT’s Member of Management Board – General Secretary of VNC
Mr. Pham Quang Huy – Vice Director of Electricity Regulatory Authority of Vietnam, Moit
Mr. Trinh Quoc Vu – Head of Science Technology and Energy Conservation Department, General
Department of Energy, Moit
Mr. Pham Xuan Truong – Vice General Director of Petrol Vietnam Power Corporation



会場出席者(500名弱との説明)

ベトナムCIGRE国内委員会の再立ち上げ式でのPPTでの説明は当方だけであったので良く注意して聞かれていた。逐次ベトナム語に翻訳され、更にPPTの絵があったので解りやすかったのかもしれない。

今回ベトナムNCを訪問して彼らの状況が解ったので今後のAORCの活動に繋げて行く。

今回の結果に関しては帰国後、パリ本部の事務局長とAORCのマレーシアの議長にベトナムNCの立上げに関して連絡をした。

以 上